【報告案】

1　統合中学校のめざす生徒像及び学校像について

「第３期室戸市教育振興基本計画（令和３年度～令和７年度)」の基本理念や「室戸市保育所及び小中学校適正規模・適正配置実施計画」の方向性、令和６年度における４中学校の「教育目標」、「めざす生徒像」、「めざす学校像」を参考に検討を行いました。

【参考資料】

第３期室戸市教育振興基本計画（令和３年度～令和７年度）（一部抜粋）

第４章　基本構想

１　基本理念

室戸市は、「ふるさとを愛し、心豊かでたくましく、生きる力を育む教育」を基本理念として、教育の振興を図ります。

保育、学校教育では、グローバル化や情報化など社会や経済が大きく変化する時代に生まれた子どもたちが、これからの時代を自立的に生きていくために、「確かな学力の定着」と「生きる力」を育む取組みを行います。

また、自他を大切に思う気持ちや、豊かな情操、規範意識の育成に取り組むとともに、自分の生まれたまちに愛着と誇りを持ち、たくましく未来を切り拓く力を育む教育を推進します。さらに、地域の子どもたちを地域全体で育てるため、学校、家庭、地域の連携を強化します。

室戸市保育所及び小中学校適正規模・適正配置実施計画（一部抜粋）

第３章　適正規模・適正配置に向けた基本的な考え方

１　目指す子ども像・学校像の考え方

室戸市教育振興基本計画の「ふるさとを愛し、心豊かでたくましく、生きる力」を育む教育を基本とし、児童生徒の「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育み、知・徳・体のバランスの取れた豊かな人間性を養うことができる学校を目指します。

統合校の具体的な目指す子ども像・学校像、教育課程などは、それぞれの学校の校長先生を中心に協議し、最終的に統合時の校長先生が決定します。

【検討結果】

今後策定する「第４期室戸市教育振興基本計画」の基本理念を踏まえ、統合前に各中学校長等により協議したうえで、最終的に統合時の校長に決定いただくことが適当であると考えます。